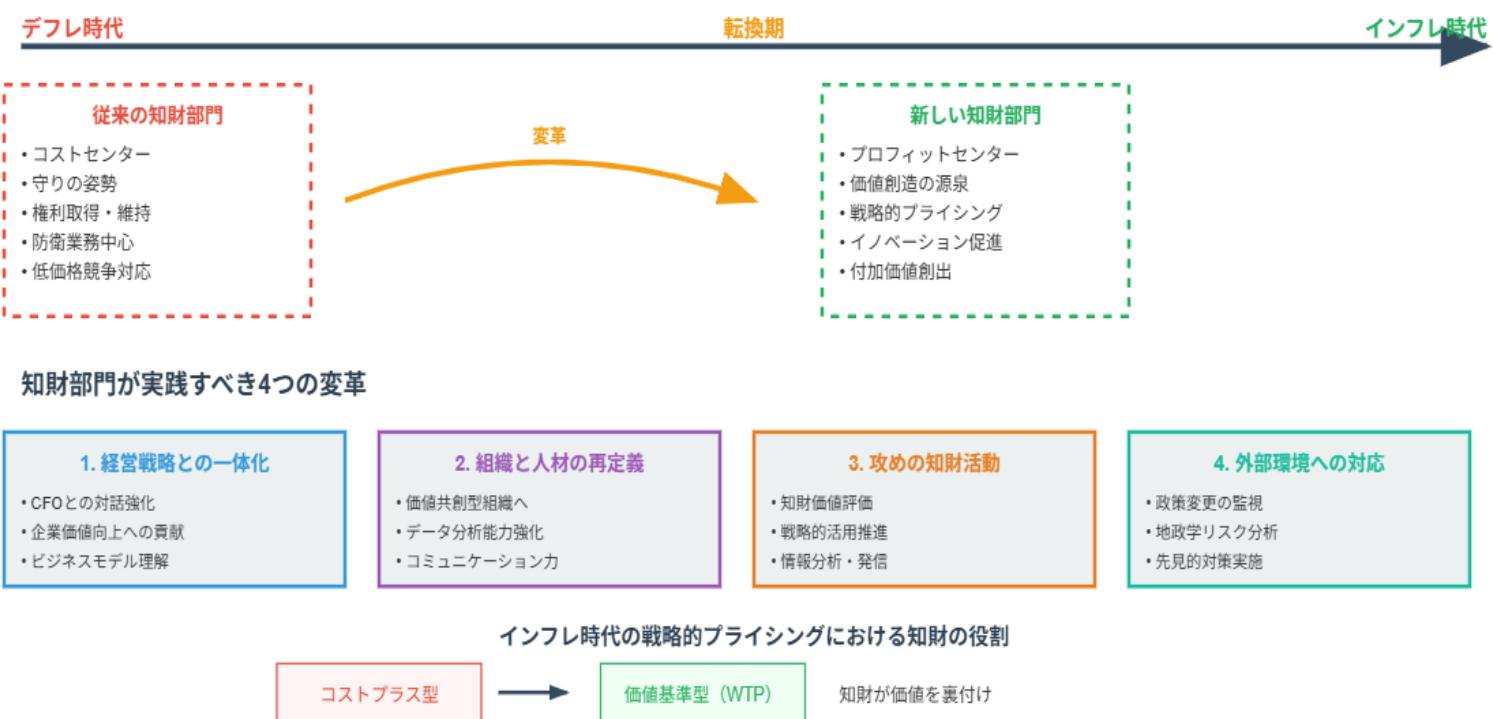


# デフレからインフレへ移行する日本経済の中で、企業知的財産部門はどう変化するべきか？

Felo AI

## デフレからインフレへ移行する日本経済の中で、企業知的財産部門はどう変化するべきか？



## 概要

長年にわたるデフレからインフレへと経済構造が転換する中で、日本の企業知的財産部門は、その役割と機能の根本的な変革を迫られています。従来のコストセンターとしての守りの姿勢から脱却し、企業価値創造に直接貢献する「プロフィットセンター」へ、さらには事業成長の核となる「価値創造の源泉」へと進化することが不可欠です [29 40](#)。

この変革の鍵は、知的財産（IP）を経営戦略と一体化させ、インフレ環境下での課題である戦略的プライシングやコスト上昇への対応に積極的に活用することにあります [35 58](#)。IPを武器に製品・サービスの付加価値を証明し、価格競争か

ら脱却するとともに、イノベーションを促進して新たな収益源を創出することが求められます [49 69](#)。本レポートでは、この経済移行期において企業知的財産部門が取るべき具体的な戦略と組織変革について詳述します。

## 詳細レポート

### 日本経済の構造変化：デフレからインフレへの移行

#### 長年のデフレ環境

1990年代初頭のバブル崩壊以降、日本経済は「失われた30年」とも呼ばれる長期的なデフレに苦しんできました [10 19](#)。この間、物価はほとんど上がらず、企業はコスト削減や低価格での商品提供に注力することでデフレ環境に最適化されてきました [56 58](#)。金融政策としてマイナス金利や量的・質的金融緩和（QQE）が導入されましたが、デフレマインドの払拭には至りませんでした [10 13](#)。

#### インフレへの転換点

しかし、近年、世界的なインフレの波及や円安を背景に、日本の物価動向は大きな転換点を迎えていました [4 20](#)。消費者物価指数（CPI）は上昇を続け、2024年1月には生鮮食品を除く総合指数が前年同月比2.2%上昇し、22ヶ月連続で日本銀行が目標とする2%を上回りました [17](#)。企業も30年ぶりとなる高水準の賃上げを実施し、政府・日銀はデフレからの完全脱却が視野に入ったとの認識を示しています [5 7 46](#)。この変化は、企業の収益構造や消費者の行動に深刻な影響を与え始めています [8](#)。

#### インフレ時代の新たな課題

インフレへの移行は、企業に新たな課題を突きつけています。原材料費、物流費、エネルギーコストの高騰は、企業の収益を直接圧迫します [30 58](#)。デフレに慣れ親しんだ日本企業にとって、コスト上昇分を適切に価格転嫁する「値付け」の経験やノウハウが乏しいことが大きな課題となっています [35 58](#)。単なるコストプラスの「守りの値上げ」ではなく、製品・サービスの付加価値に見合ったリターンを得るための「戦略的なプライシング」が、企業の競争力と持続的成長を左右する重要な経営課題となっています [41 58](#)。

### インフレ時代における知的財産部門の新たな役割

経済の前提がデフレからインフレへと変わる中、知的財産部門の役割も大きく変わらなければなりません。

#### 「コストセンター」から「価値創造の源泉」へ

デフレ時代、知財部門は主に権利の取得・維持・防衛といった管理業務が中心で、「コストセンター」と見なされることが少なくありませんでした [29](#)。しかしインフレ時代においては、知財を企業の「稼ぐ力」の源泉と位置づけ、事業の付加価値を高め、収益向上に直接貢献する役割が求められます [40 69](#)。知財は、企業の価値創造メカニズムを支える重要な無形資産であり、その活用が企業価値そのものを左右します [67 76](#)。ソニーグループが知的財産（IP）を技術開発と並ぶ

戦略的投資の柱に据えたことは、この変化を象徴しています [78](#)。

### 戦略的プライシングの「武器」としての知財

インフレ下で重要な戦略的プライシングにおいて、知財は極めて強力な武器となります [35 56](#)。

プライシングの考え方	知財の役割
コストプラス型	原価に一定の利益を上乗せする単純な手法。 知財の価値は反映されにくい。
競合追随型	競合の価格を基準とする。価格競争に陥りやすい。
価値基準型（WTP）	顧客が感じる価値（Willingness to Pay）を基準とする。知財は、この「価値」を客観的に裏付け、価格の正当性を担保する。

\*出典: Boston Consulting Group の分析を基に作成 [58](#) \*

自社の特許やブランド、ノウハウといった知的財産は、製品やサービスの独自性や優位性、品質を顧客に訴求するための客観的な根拠となります。これにより、単なるコスト上昇を理由とする価格転嫁ではなく、顧客が納得する付加価値に基づいた価格設定が可能になり、価格競争からの脱却を図ることができます [49 58](#)。

### イノベーション促進と知財ポートフォリオの最適化

AI やデジタルトランスフォーメーション（DX）に代表される技術革新は、生産性を向上させ、コストを削減する「デフレ効果」を持つ側面があります [3 12 27](#)。インフレによるコストパッシュ圧力に対抗し、持続的な競争力を維持するためには、こうしたイノベーションへの投資が不可欠です。

知財部門は、研究開発部門や事業部門と密に連携し、経営戦略に沿った知財ポートフォリオを構築・活用する必要があります [44 70](#)。将来の市場を見据え、どの技術分野で権利を取得し、どの分野では他社との連携（オープン戦略）を図るかといった、ダイナミックな知財戦略が求められます [49 81](#)。

### 知的財産部門が実践すべき具体的な変革

この大きな役割転換を実現するためには、組織、人材、プロセスの全てにおいて変革が必要です。

**1. 経営戦略との完全な一体化** 知財戦略は、もはや経営戦略の下位概念ではありません [48](#)。知財部門は、CFO（最高財務責任者）などの経営幹部と対話し、知財投資がどのように企業価値向上に結びつくのかを論理的に説明する責任を負います [56](#)。事業戦略を深く理解し、ビジネスモデルの中で知財が果たすべき役割を明確に定義することが出発点となります [81](#)。

**2. 組織と人材の再定義** 従来の法務・特許管理中心の組織から、事業開発やマーケティングの視点を持つ人材を組み込んだ「価値共創型組織」へと変革する必要があります [34 64](#)。勘や経験に頼るのではなく、データに基づいた戦略立案能力や、部門の壁を越えて連携を主導するコミュニケーション能力を持つ人材の育成・確保が急務です [58](#)。

**3. プロセスの変革：攻めの知財活動へ** 出願や権利維持といった「守り」の業務プロセスに加え、積極的に価値を創造する「攻め」のプロセスを確立しなければなりません。

- **知財の価値評価**: 保有する知財の経済的価値を評価し、事業貢献度を可視化する [67](#)。
- **戦略的活用**: ライセンス供与、共同開発、M&A、知財担保金融など、多様な活用方法を検討・実行する。
- **情報分析と発信**: 競合の知財動向や技術トレンドを分析し、経営層や事業部門へ戦略的な情報を提供する。

**4. 外部環境の変化への機動的な対応** 世界的なインフレの動向、米国のインフレ抑制法（IRA）のような各国の政策変更、地政学リスク（例：トランプ 2.0）などは、企業の知財戦略に直接的な影響を及ぼします [30 38 56](#)。知財部門は、これらのマクロ環境の変化を常に監視し、自社の事業と知財ポートフォリオへの影響を分析し、先を見越した対策を講じるアンテナとしての役割も担います。

1. [第2節 デフレ脱却に向けた展望と課題 – 内閣府](#)
2. [Deflation in an Inflationary World | Japan Center for Economic ...](#)
3. [From Inflation to Deflation: Navigating the Future Economy ...](#)
4. [日本の物価上昇はどうなるか インフレとデフレが学べる 3 冊](#)
5. [Japan at 'inflection point' in 25-year battle with deflation ...](#)
6. [IP in Times of Recession: A Comprehensive Guide for IP ...](#)
7. [デフレ完全脱却のための総合経済対策 – 首相官邸](#)
8. [Japan Equities: Inflation May Be Just What the Doctor Ordered](#)
9. [The Increasing Deflationary Impact of Consumer Digital ...](#)
10. [【講演】内田副総裁「わが国における過去 25 年間の物価変動 ...](#)
11. [Japanese Inflation: signs of meaningful change – UK – EN](#)
12. [Innovation's Deflationary Effect – Smith & Hopen](#)
13. [インフレが復活…日本もついに？ | リコー経済社会研究所](#)
14. [Japan economic outlook, February 2025 – Deloitte](#)
15. [Why recession and inflation won't change IP firm strategy \(much\)](#)
16. [【講演】黒田総裁「なぜ『2%』の物価上昇を目指すのか ...](#)
17. [Japan Is Back. Is Inflation the Reason? – WSJ](#)
18. [The value of intellectual property rights to firms and society](#)
19. [日本株、2024 年の注目点～「デフレ 30 年」からの脱却へ](#)
20. [How the return of inflation is changing Japan's economy](#)

21. ["A Deep Dive into the Implications of Deflation in a Credit ...](#)
22. [MASAMITSU 日本株戦略ファンド」運用責任者に聞く](#)
23. [Sun beginning to rise on Japanese economy](#)
24. [Inflation in times of overlapping emergencies: Systemically ...](#)
25. [第1章 第2節 物価を巡る問題－内閣府](#)
26. [One small step forward—one giant leap away from deflation in ...](#)
27. [Innovation's Deflationary Effect — Smith & Hopen](#)
28. [知的財産と知的財産制度－J-Stage](#)
29. [知的財産部門を一言で表現せよ。](#)
30. [トランプ 2.0 とどう向き合うか？企業価値を向上させる“武器 ...](#)
31. [【講演】黒田総裁「なぜ『2%』の物価上昇を目指すのか ...](#)
32. [Digital Deflation: Tech Combats Inflation](#)
33. [若手研究 \(B\) 「知的財産保護が経済成長に与える影響 ...](#)
34. [知財活用の歴史を立体的な目線で振り返る（増補版 ... – note](#)
35. [武器としての知的財産戦略－JBpress](#)
36. [第2節 デフレ脱却に向けた展望と課題－内閣府](#)
37. [From Inflation to Deflation: Navigating the Future Economy ...](#)
38. [2025 年のアメリカ知的財産政策の展望：トランプ政権 2 期目で ...](#)
39. [変わる知的財産部の役割と責任](#)
40. [知的財産は「稼ぐ力」の源泉 高付加価値経済実現へ新たな知 ...](#)
41. [インフレ時代に求められる戦略的プライシング－BCG Japan](#)
42. [If inflation causes prices to rise, will deflation ever reduce ...](#)
43. [知的財産権の保護と貿易ルール－RIETI](#)
44. [事業成功を支える企業知財部の仕事とは？～考え方と三菱 ...](#)
45. [謹賀新年 SKIP は、クライアントの知財戦略のバリューアップ ...](#)
46. [日本株、2024 年の注目点～「デフレ 30 年」からの脱却へ](#)
47. [Deflation: Who's Afraid of Falling Prices? — Mises Institute](#)
48. [変化に乗り遅れないで！今後求められる知財部門の役割](#)
49. [事業の強み弱みを知り、知財を使い分ける「NO を合法的に ...](#)
50. [日本の物価上昇はどうなるか インフレとデフレが学べる 3 冊](#)
51. [The Complex Relationship Between Inflation and Asset Prices](#)
52. [知的財産戦略本部](#)
53. [The Macroeconomics Of Intellectual Property](#)

54. [Hitting the Elusive Inflation Target | NBER](#)
55. [The costs of deflations: a historical perspective](#)
56. [インフレ、トランプ 2.0 とどう向き合うか？企業価値を向上させる“武器”としての「知的財産戦略」 | Japan Innovation Review powered by JBpress](#)
- 57.
58. [インフレ時代に求められる戦略的プライシング——『経営の論点 2024』から —BCG Japan](#)
59. [あなたのポートフォリオはインフレへの対策ができているか？](#)
60. [トランプ 2.0 とどう向き合うか？企業価値を向上させる“武器”としての「知的財産戦略」 | Japan Innovation Review powered by JBpress](#)
61. [新たな価値創造の考え方～新規事業の創出プロセスと知的財産戦略～](#)
62. [インフレ時代の資産形成のポイント（3）リスクを低減する方法](#)
63. [謹賀新年 SKIP は、クライアントの知財戦略のバリューアップ](#)
64. [価値共創型知財組織についての考察 — J-Stage](#)
65. [インフレなき成長期からインフレ変動を伴う低成長期へ — PGIM](#)
66. [事業の強み弱みを知り、知財を使い分ける「NO」を合法的に](#)
67. [経営をデザインする（知財のビジネス価値評価）](#)
68. [インフレリスク（いんふれりすく） | 証券用語集](#)
69. [知的財産は「稼ぐ力」の源泉 高付加価値経済実現へ新たな知的財産戦略](#)
70. [富士通の知的財産 — Global \(English\)](#)
71. [インフレ対策に関する検討事項 — Mercer](#)
72. [知的財産戦略本部](#)
73. [未来価値創造フォーラム 2024 「未来の価値創造に向けた知的財産戦略」](#)
74. [新たな環境の夜明け：インフレが債券投資に与える長期的な影響](#)
75. [両利きの知財活動を戦略目標に | オムロン株式会社](#)
76. [知識の創造と実装「知的財産」が社会の基盤をつくる](#)
77. [変わりゆく市場環境と、プライベート資産がポートフォリオをどう変えるか](#)
78. [知的財産、技術開発、自社株買い…ソニーが 2 兆円の戦略投資](#)
79. [NEC の知財ビジョン：知的財産](#)
80. [【資産防衛 5 つの戦略】インフレや各種リスクで目減りする資産を守る](#)
81. [知的財産戦略の立案とは？経営戦略との関係・知財管理体制の構築](#)